

論文審査の結果の要旨

論文題名： 関節不安定性の制動が関節軟骨変性に与える影響 (Controlling joint instability delays the degeneration of articular cartilage)
申請者氏名： 村田 健児
審査の所見 <p>本研究論文はラットを用いて関節軟骨変性の進行に及ぼす関節不安定性の影響を検討したものである。膝前十字靭帯を損傷させたモデルを作成し、外科的手術によって不安定性を制動した群と外科的手術を行わなかった群に分けて、軟骨、滑膜、骨合成に関する組織学的検討と炎症メディエータの免疫組織学的解析、リアルタイム PCR 法を用いた関節軟骨における炎症メディエータの mRNA 発現を比較検討した。得られた所見から関節不安定性に伴う運動学的異常による関節軟骨に加わる機械的ストレスを抑制することで変形性関節症の進行を遅延できる可能性が示唆された。</p> <p>本研究論文は、保健医療福祉の領域、特に理学療法と運動器障害のリハビリテーションにかかわる分野の臨床と研究に寄与するものである。したがって、本研究論文は埼玉県立大学大学院 保健医療福祉研究科 博士後期課程の学位論文としてふさわしいものと認める。</p> <p>なお、2017 年 10 月 13 日に実施した審査において、論文審査とそれに関連した質疑応答が行われ、申請者は審査委員会の質問に対して適切に応答し、この分野の博士の学位に値する十分な見識を有することを示し、最終試験に合格した。</p>

【審査員】

主査：埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科 教授 原 元彦

副査：埼玉県立大学大学院保健医療福祉学研究科 教授 鈴木 幸子

副査：北海道大学大学院保健科学研究院機能回復学分野 教授 前島 洋